

令和6年度 学校評価アンケートの結果を受けて (分析と課題)

本校では、よりよい学校づくりを目指して改革を続けていますが、更なる教育の環境整備と質的向上、ひいては教育成果の向上のために、保護者の皆様、在籍生徒、教職員を評価者とする学校評価アンケートを実施しております。

この度、集計結果に分析(本校各部長)を加え本書面をまとめました。本校が目指す学校像をご理解いただくとともに、今後の益々のご協力を賜りたく、是非ともご高覧くださいますようお願い申し上げます。

【回答数】 令和6年12月実施

対 象	回答数
生 徒(964中)	825
保 護 者	498
教 員(84名中)	58

1. 生徒の悩みや相談に対して、適切な対応をするなど、「生徒一人ひとりを大切にせる教育」に努めていると思いますか。

	保護者	生徒	教員
かなりそう思う	21.7%	19.7%	34.5%
少しそう思う	42.8%	41.6%	58.6%
どちらともいえない	25.7%	26.1%	6.9%
あまりそう思わない	7.0%	9.6%	0%
全くそう思わない	2.8%	3.0%	0%

(分析と課題)

・保護者と生徒の約10人に1人が悩みや相談に対応してくれていないと感じており、これは重く認識しなければならない。BLENDなどのツールにのみ頼り数字を残すのみ終わってしまい、もう一歩踏み込んだ直接連絡を怠ってはいなかったか振り返る必要がある。毎月の教育相談室の来室者も多く相談員1人では時間内に対応し切れていないのも原因とを感じる。支援計画、個別の相談対応などの方法を再構築する時期だと思う。

・生徒と教員間のコミュニケーション不足が原因となっている可能性もある。生徒の成長を考えるとき、生徒指導方針を大きく変えることはできないが、生徒の気持ちに寄り添いながら、声かけや面談を充実させるなど配慮し生徒指導にあたっていきたい。

2. 個性や適性に応じて進路情報を提供するなど、進路目標達成のために細やかな指導をしていると思いますか。

	保護者	生徒	教員
かなりそう思う	25.5%	32.6%	48.3%
少しそう思う	39.4%	41.5%	41.4%
どちらともいえない	26.9%	18.4%	10.3%
あまりそう思わない	5.8%	5.9%	0%
全くそう思わない	2.4%	1.6%	0%

(分析と課題)

今年度はこれまでになく多くの大学合格が出た。特に総合型入試が指導担当と連携を密にして取り組んだことで、多くの生徒が第一志望に合格した。就職についてもほとんどすべての生徒が第一志望に合格するなど成果をだしている。このような取り組みの成果として、「かなりそう思う」「少しそう思う」の回答が多くをしめたと考えられる。一方で、志望する生徒が最もおおい専門学校希望の生徒は、入試に対して非常にスムーズな運びであった。このようなことから「どちらともいえない」という評価が多くでたものと考えている。否定的な回答は少ないが、私達の指導が行き届いていない生徒がいるという事実しっかりと目を向け、対策を立てたい。

3. 「学びを実感できる授業」の取り組みを推進し、「思考力」「行動力」「想像力」を養成する教育を実践していると思いますか。

	保護者	生徒	教員
かなりそう思う	16.9%	22.4%	15.5%
少しそう思う	45.8%	45.0%	56.9%
どちらともいえない	31.7%	23.7%	22.4%
あまりそう思わない	4.6%	7.4%	5.2%
全くそう思わない	1.0%	1.6%	0%

(分析と課題)

「学びを実感できる授業」の生徒満足度・保護者満足度は、昨年までの満足度とほぼ同様になっている。コース別の満足度では、普通コース生徒がやや高く、特進コース生徒・衣創科生徒がやや低くなっている。

教員に関しては、第4項の「わかりやすい授業」と比べると「5」の評価が少なく、「学びを実感できる授業」を課題として自覚しているものと思われる。

4. クロームブックやパソコン、電子黒板・プロジェクターを積極的に活用し、わかりやすい授業の充実が図られていると思いますか。

	保護者	生徒	教員
かなりそう思う	27.7%	40.1%	41.4%
少しそう思う	47.6%	36.4%	44.8%
どちらともいえない	20.7%	16.0%	10.3%
あまりそう思わない	2.6%	5.0%	3.4%
全くそう思わない	1.4%	2.5%	0%

(分析と課題)

「わかりやすい授業」の「5」の評価については、保護者は昨年とほぼ同様であるが、生徒は昨年より5%上昇した。教員は4%上昇している。生徒については、2年前と比べると「5」の評価が18%の上昇となる。

これらの結果から、生徒自身「わかりやすい授業」をしてきていると思っており、教員も「わかりやすい授業」を心掛けていることが読み取れる。

第3項・第4項を合わせて考えるならば、引き続き「わかりやすい授業」の工夫をしつつ、「学びを実感出来る授業」へどうつなげることができるかが課題になると思われる。

5. ホームページの更新やクラス通信(BLEND配信を含む。)を通じて、保護者及び関係地域、組織に積極的に教育活動の共有を行っていると思いますか。

	保護者	生徒	教員
かなりそう思う	28.1%	29.6%	50.0%
少しそう思う	47.4%	36.6%	32.8%
どちらともいえない	20.3%	24.8%	15.5%
あまりそう思わない	2.8%	7.0%	1.7%
全くそう思わない	1.4%	1.8%	0%

(分析と課題)

行事や部活動についてはホームページ等を利用して情報提供がなされているが、日常の学習活動や教室での様子などはほとんど提供できていない現状がある。また、ホームページは閲覧者が積極的に訪問することで情報を得ることができるフォーマットであり、多くの方々に満遍なく情報を提供する場合の手段としては不十分である。

生徒の普段の様子を直接保護者に伝える機会を設けたり、学級通信を定期的に発行して通知表に同封したりするなど、保護者に伝わる情報発信を行う必要がある。

6. 将来、自立した社会生活を送るうえで必要な、自覚や自律心を育むための適切な生徒指導を推進していると思いますか。

	保護者	生徒	教員
かなりそう思う	16.3%	27.3%	22.4%
少しそう思う	45.6%	39.2%	53.4%
どちらともいえない	30.7%	23.0%	13.8%
あまりそう思わない	5.4%	7.6%	8.6%
全くそう思わない	2.0%	2.9%	1.7%

(分析と課題)

社会にできれば、社会の基準で評価されることを念頭において、進路指導部として生徒指導に関与する場面があった。特に2年生においては、生活状況等悪い生徒はインターンシップ・大学訪問の参加を断るなど厳しい対応をとってきた。一方で、スカート丈、化粧など女子生徒に課題が多いのも事実であり、評価にあらわれていると考える。行き過ぎた指導となることを避けつつも、各生徒に理解を促しているのが現状である。課題も多いが粘り強く対応したい。

7. 安心して通える学校を目指し、いじめ・暴力・強要・いやがらせなどを許さない指導をしていると思いますか。

	保護者	生徒	教員
かなりそう思う	16.1%	23.6%	37.9%
少しそう思う	41.4%	36.3%	48.3%
どちらともいえない	30.3%	25.5%	12.1%
あまりそう思わない	9.4%	10.6%	1.7%
全くそう思わない	2.8%	4.0%	0%

(分析と課題)

・保護者と生徒から10%を超える数値でマイナス評価をいただいた。このことは重く受け止めなければならない。「話を聞いてくれない。」「どうせ言っても無駄だ。」などの思いをさせてはいないかを冷静に振り返る必要がある。今年度も、いじめ発見防止アンケート(6月、11月)やQU(教育心理検査:6月実施)、本人の訴え等から、いじめが疑われる場合には、速やかに関係する生徒の聞き取りを行うとともに、ご家庭にも連絡をとりながらスピード感をもって丁寧に対応するように心がけてきた。声なき困り感を発見するため、情報交換会、カウンセリングの充実等、教育相談機能の充実に努めた。生徒の抱える問題は多岐にわたっている。生徒それぞれに寄り添い、問題の早期発見や自己肯定感を向上させる取り組みを根気よく継続することが必要である。

8. 部活動への積極的な参加を勧め、主体性と健康を育むための充実した部活動が出来るよう努力していると思いますか。

	保護者	生徒	教員
かなりそう思う	27.1%	30.0%	31.0%
少しそう思う	37.3%	36.5%	43.1%
どちらともいえない	28.1%	23.1%	19.0%
あまりそう思わない	4.8%	7.0%	5.2%
全くそう思わない	2.6%	3.4%	1.7%

(分析と課題)

運動部の戦績としてはインターハイには女子バドミントンが出場。女子ハンドが新人戦優勝。剣道が総体、新人戦で入賞。東北大会には男女ハンドボール、女子バドミントン、陸上、卓球、剣道がそれぞれ出場し活躍してくれた。特筆すべきは男子剣道部が本学園初の東北大会団体優勝を果たしたことであり賞賛を送りたい。文化部もダンスドリル部が東日本大会で優勝で勝ち抜き全国大会に駒を進めている。又、eスポーツ部、メディアクリエイティブ部は本校の強みを生かした地域に打って出る活動をも展開しておりその評価も高い。茶道部、華道部、などの文化部も外部活動、コンテスト参加、文化部衣創科合同展、他校とのコラボなど積極的な活動を展開し評価を得た。

これからも私学の特性を活かしながら社会の動向にも注目し人間形成のための部活動をさらに充実させていきたい。

9. クラスマッチや学園祭等の生徒会行事を通じて仲間づくりや集団での取り組みを大切にしよう努力していると思いますか。

	保護者	生徒	教員
かなりそう思う	37.6%	44.6%	46.6%
少しそう思う	50.4%	38.7%	44.8%
どちらともいえない	10.0%	12.5%	5.2%
あまりそう思わない	1.8%	2.8%	3.4%
全くそう思わない	0.2%	1.5%	0%

(分析と課題)

他のアンケートの回答よりも生徒の花丸評価が圧倒的に多い。やはり生徒は体を使うことやお祭りが好きなんだと改めて感じる。

教員側は行事運営に関わる生徒の成功体験を積ませる事により「自分たちでやりきった。」という達成感と自己肯定感・有用感を実感してもらいたいという希望がある。能登半島の募金活動や新入生歓迎会の校則動画、部活動のスライドショー、オンラインによる生徒総会など素晴らしい活躍であった。クラスマッチ、学園祭、体育祭のあとの生徒対象アンケートへの参加協力も建設的な意見が多く、要望や課題も明確であることから来年度への期待が膨らむ。

10. 各学年で朝読書や朝学習、漢字学習を実施するなど、言語活動の充実を図り、心豊かな人間の育成に努めていると思いますか。

	保護者	生徒	教員
かなりそう思う	18.9%	32.0%	22.4%
少しそう思う	51.0%	43.5%	53.4%
どちらともいえない	26.3%	17.3%	15.5%
あまりそう思わない	2.8%	4.5%	8.6%
全くそう思わない	1.0%	2.7%	0%

(分析と課題)

朝読書や朝学習など学年ごとに朝の時間を工夫して取り組んでいる。「4」「5」の生徒評価が昨年とほぼ同様で75%をこえている。生徒にとって、自らの世界を広げる朝読書や進学や就職を見据えた進路対策として朝学習など通常の授業とは違う、もう一つの学びの場として実感していると思われる

11. PTA活動や地域の清掃活動、除雪ボランティアなど、保護者や地域との連携を大切にする教育活動を推進していると思いますか。

	保護者	生徒	教員
かなりそう思う	13.5%	26.7%	13.8%
少しそう思う	41.4%	38.2%	55.2%
どちらともいえない	41.1%	27.4%	17.2%
あまりそう思わない	3.0%	5.6%	13.8%
全くそう思わない	0.8%	2.1%	0%

(分析と課題)

「卒業を祝う会」「学園祭PTA企画なごみ庵」などのPTA活動がコロナ前から復活している。保護者からは多大なるご理解とご協力が得られている。地域清掃や雪かきボランティアについては定期的に開催し地域から感謝の声をいただいている。

12. 学校は、感染症予防対策に努めていると思いますか。

	保護者	生徒	教員
かなりそう思う	11.4%	22.0%	20.7%
少しそう思う	39.4%	33.9%	48.3%
どちらともいえない	38.6%	27.6%	24.1%
あまりそう思わない	9.8%	13.3%	5.2%
全くそう思わない	0.8%	3.3%	1.7%

(分析と課題)

コロナが5類移行になってから希薄になってはいるが、これまでの予防対策の成果を維持しており保護者・生徒から理解を得られている。環境保健委員会から定期的に通信を発行し感染予防対策に努めている事も要因にある。

13. 惺山高等学校は楽しいですか。(楽しそうですか。)

	保護者	生徒	教員
かなりそう思う	39.2%	32.3%	22.4%
少しそう思う	38.2%	37.7%	56.9%
どちらともいえない	11.6%	19.0%	19.0%
あまりそう思わない	8.8%	7.5%	0.0%
全くそう思わない	2.2%	3.5%	1.7%

(分析と課題)

SNSの普及により、生徒の人間関係は以前とは比較にならないほど複雑化している。生徒たちは様々な相手と様々なレベルで常にコミュニケーションを取ることが求められており、気の休まる暇もないように見える。また、自分に近い大人(家族)に対しては強い自分を演出して見せていることも多いが、実際は揺らぎの中で生活しており、苦しさやつらさを抱えて生活しているように感じる。

そのような中で、私たち教員は、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答した11%の生徒の生活、保護者の心境に想いを至らせることが最重要課題である。日常のあらゆる場面で生徒の生きつらさを理解し、支えていくことが必要である。

以上